



(株)中国放送と共同で実施した「被爆電車特別運行プロジェクト」

第107期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

広島電鉄株式会社

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社第107期上半期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の
中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し
上げます。

平成27年12月

代表取締役社長

荒田 昌夫

旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

上半期におけるわが国経済は、海外経済の減速の懸念はあるものの、設備投資や雇用・所得環境が改善し、大企業に比べて出遅れていた中小企業にも改善の兆しが見られるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向

上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

平成24年7月に着工した大規模不動産開発プロジェクト「石内東地区開発事業」につきましては、平成27年7月に全区域の造成を完了いたしました。

また、平成27年4月に着工した八丁堀地区における再開発事業「(仮称) 広島八丁堀共同プロジェクト」につきましては、工事を安全かつ堅実に施工するよう工程管理を行ってまいります。

運輸業およびレジャー・サービス業が増収になったものの、流通業、不動産業および建設業が減収となりました。一方で、運輸業において原油価格の下落に

よる燃料費の減少や不動産業の経費減少などにより、減収、増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、運輸業およびレジャー・サービス業が増収になったものの、流通業、不動産業および建設業が減収となり、前第2四半期連結累計期間と比較して22.6%、6,266百万円減少し、21,408百万円となりました。利益につきましては、運輸業において原油価格の下落による燃料費の減少や不動産業の経費減少により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間と比較して33.5%、232百万円増加し、928百万円となり、経常利益は、前第2四半期連結累計期間と比較して46.4%、264百万円増加し、834百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、「(仮称)広島八丁堀共同プロジェクト」の進行により第二広電ビルの建て替えに伴う固定資産除却損が発生した影響で、前第2四半期連結累計期間と比較して、4.7%、19百万円減少し、396百万円となりました。

様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努

め、安全性の確保を前提としたうえで、収益性の向上に努めてまいります。また、広島市が事業主体である電車の駅前大橋ルート of 整備事業等を、関係機関と協力しながら推進してまいります。

今後の経済見通しにつきましては、海外経済の先行きなど不透明な状況であり、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供による収益の獲得と、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、収益性の向上に努めてまいります。

また、広島市が事業主体である電車の駅前大橋ルート of 整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業、広島大学跡地の活用策「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」といった新規事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援・ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループ情報

運輸部門



三次市交通観光センター

備北交通(株)

平成27年5月に、当社が指定管理者として管理運営を行う「三次市交通観光センター」がオープンいたしました。当該施設内では、三次の特産物の販売や新しくカフェコーナーを設置し、バス利用者の方はもちろん、地域の皆様の憩いの場となれればと考えております。地元のお土産も厳選し、三次の拠点施設となることを目指し頑張っております。

エイチ・ディー西広島(株)

今年も地域に根ざした公共交通機関として、様々なイベントを行っております。

平成27年4月には地域の公民館と共催による「みんなのボン・バス写生大会」を、7月には小学生を対象とした職業体験イベントを行いました。

地域とより良い関係を維持することで、乗合バスの利用促進を図っております。



職業体験イベント

芸陽バス(株)

今年は高速バス「かぐや姫号」へ、新たにトイレ付車両を2両導入いたしました。併せて車齢の若い3両をトイレ付車両へと改造し、快適性の向上を図りました。

また、中型ワンステップバスを4両導入するなど、バリアフリー化を進めております。



かぐや姫号



広島空港カウンター

広電エアサポート(株)

平成27年8月より週2便、香港ドラゴン航空が12年ぶりに広島空港に復活就航し、広島から香港以遠への乗り継ぎが便利になりました。

当社は日本航空から地上旅客業務委託を受けており、本契約のもと当路線の貨物業務、旅客業務等を請け負っております。

広島観光開発(株)

宮島ロープウエーでは、宮島弥山展望台グランドオープン1周年を記念してスタンプラリーを実施し、弥山展望台の周知と旅客誘致を図りました。

また、紅葉谷駅および榎谷駅の手すりを増設・改修し、さらに獅子岩展望台の土間を整備して、お客様が安心して移動できるように、施設の改善に努めました。



弥山展望台からの眺望

グループ情報



宮島松大汽船

宮島松大汽船(株)

平成27年6月に、安全運航への取り組みの一環として、船内密閉区画における救助訓練を運航管理者・乗組員一同で実施いたしました。これは、平成27年1月に、SOLAS条約が改正されたことを受け、船員法施行規則が改正されたことに伴うものです。また、お客様のご利用状況に応じ、多客時には臨時便を増発し、利便性の向上と収益の確保に努めました。

不動産・建設部門

広電建設(株)

平成27年度は、土木部、建築部および不動産住宅部において、砂防堰堤・学校関係・公営住宅関係などの公共工事や民間工事を多数受注しております。

上半期は、広島市立城南中学校耐震改修工事、サービス付高齢者住宅ふかわ・くにくさ新築工事などを施工いたしました。



サービス付高齢者住宅ふかわ・くにくさ

流通部門



楽々園店 むすびの源家

(株)広電ストア

平成27年9月に、楽々園店へ直営飲食店『むすびの源家』をオープンいたしました。「手づくりむすび」や今話題の「おにぎらず」などをメニューに加えたファストフード店です。

店頭には、ヒロデンジャーのキャラクターをあしらうなど、可愛らしいお店に仕上がっており、お客様にご好評いただいております。

(株)広電宮島ガーデン

平成27年4月に、新たな人事評価制度として制定した“みんなで選ぶ「ベスト・スタッフ賞」”の表彰を実施いたしました。

この制度は、パート・アルバイトを含む社員全員が、一緒に働く者の立場から、1年間を通じて最も輝いていたスタッフ1名を理由やエピソードを添えて投票してもらい、最高得票者を表彰するものです。職場の活性化・モチベーション向上を期待して導入したもので、職場内でも大いに盛り上がりました。



「ベスト・スタッフ賞」表彰式

グループ情報

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

平成27年8月に、「第18回安芸太田町伝統文化継承川北神楽団神楽ディナーショー」を開催いたしました。

当日は安芸太田町の特産品や神楽グッズの販売や、神楽終了後に衣裳を着ることのできる記念撮影会もあり、福岡県・鳥取県・愛知県など県外からのお客様も、間近で見る迫力ある神楽に拍手喝采で、大盛況のうちに終えることができました。



神楽ディナーショー



リラクゼーションスペース

(株)ヒロデンプラザ

平成27年8月に、広電ゴルフヘリラクゼーションスペースを設置いたしました。ソファやテレビを置き、さらには美味しいコーヒーも飲むことができるスペースとなっており、お客様に大変喜んでいただいております。



コース景観

(株)グリーンバース・ヒロデン

平成27年7月に、14番ホールの修景橋の補修、15番ホールから16番ホールへ向かう歩経路の整備、コース内の裸地部の改善など、コース環境の整備を通じて施設の改修に努め、お客様の満足度向上を図りました。

ひろでん中国新聞旅行(株)

平成27年4月に、第二広電ビルの建て替えに伴い本社・たび館を移転いたしました。

本社は中区胡町、たび館は紙屋町東電停北側にて営業しております。

両店舗とも八丁堀・紙屋町の中心地から至便な場所にありますので、ぜひ一度お立ち寄りください。



ひろでん中国新聞旅行本社

営業の概況



被爆70年事業

㈱中国放送と共同で「被爆電車特別運行プロジェクト」を実施し、休車していた被爆電車653号を被爆当時の塗装に復元し、貸切運行いたしました。この取り組みは多くの反響を呼び、第14回「日本鉄道賞」特別賞を受賞いたしました。その他にも、多くの事業へ参画いたしました。

当社電車をミャンマーへ譲渡

平成27年7月に、連接車2編成、単車1両をミャンマー連邦共和国へ譲渡いたしました。急速に経済成長が進む同国の路線電化へ協力することで、東南アジアのインフラ整備に貢献いたしました。



バス路線の延伸

平成27年9月より、西風新都線の一部をこころ宮島展望街区へ乗り入れ開始いたしました。今後も沿線人口の増加が見込めるエリアへの乗り入れや新規路線の開設などを通じて、収益の確保に努めてまいります。



外国人向け観光マップ

外国人旅行者向け施策

昨年度から実施している窓口における多言語通訳サービスの活用や、高速バス松江・米子線の外国人観光客を対象とした割引運賃設定に加え、今年度は電停へのフリー Wi-Fiの整備の協力や、安田女子大学と共同で外国人向け観光マップを制作するなど、外国からのお客様にも利用しやすい環境づくりを進めました。

アンヴェール五日市駅前

平成26年8月から分譲を開始しておりましたアンヴェール五日市駅前は、平成27年7月に44戸全てを完売いたしました。平成27年9月末に竣工し、全戸の引き渡しを行いました。



アンヴェール五日市駅前



Ring! Ring! プロジェクト

女性の活躍促進への取り組み

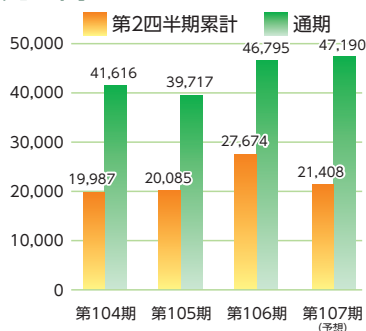
平成26年6月より、「Ring! Ring! プロジェクト」と称し、男女の別なく能力を発揮し、活躍できる職場環境を整備するため、女性社員が主体となった活動に取り組んでおります。今年度は、社内での意見交換会や、他社で活躍する女性社員との異業種交流会などを行い、社内の活性化につなげております。

連結業績ハイライト

		第104期 平成25年3月期 第2四半期累計	第105期 平成26年3月期 第2四半期累計	第106期 平成27年3月期 第2四半期累計	第107期 平成28年3月期 第2四半期累計
売上高	(百万円)	19,987	20,085	27,674	21,408
営業利益	(百万円)	1,121	789	695	928
経常利益	(百万円)	937	668	570	834
親会社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	570	742	416	396
1株当たり四半期純利益	(円)	9.41	12.24	6.86	6.54
総資産	(百万円)	90,669	90,854	90,813	94,737
純資産	(百万円)	32,579	34,757	36,454	39,610
自己資本比率	(%)	35.2	37.4	39.3	40.9

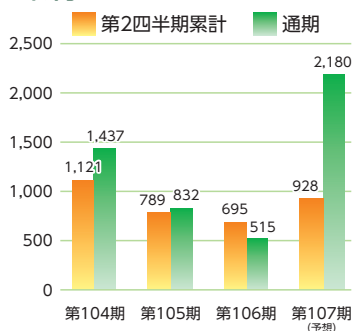
売上高

(単位：百万円)



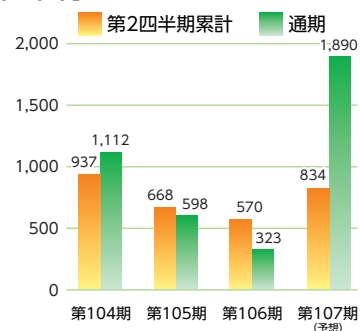
営業利益

(単位：百万円)



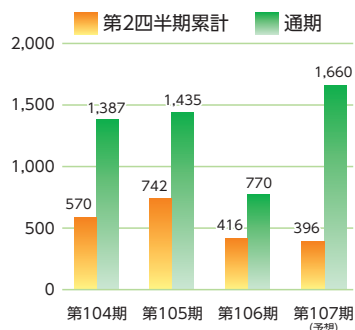
経常利益

(単位：百万円)



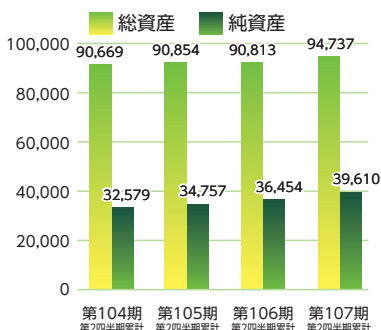
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



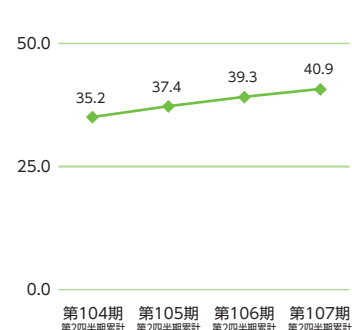
総資産／純資産

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 平成27年9月30日現在 (単位：百万円)

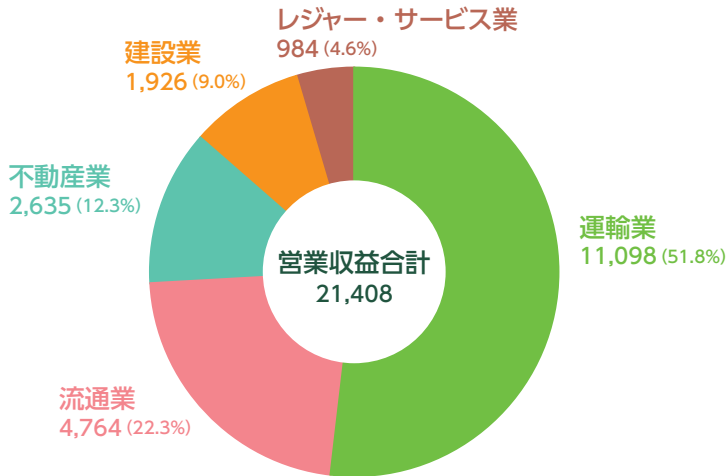
科 目	金 額
資産の部	
流動資産	20,567
現金及び預金	6,330
受取手形及び売掛金	2,521
販売土地及び建物	9,911
未成工事支出金	178
商品及び製品	179
原材料及び貯蔵品	525
その他	928
貸倒引当金	△ 6
固定資産	74,169
有形固定資産	64,977
建物及び構築物	15,945
機械装置及び運搬具	5,109
土地	42,647
建設仮勘定	83
その他	1,190
無形固定資産	771
借地権	45
その他	725
投資その他の資産	8,421
投資有価証券	5,270
長期貸付金	11
退職給付に係る資産	2,276
その他	930
貸倒引当金	△ 67
資産合計	94,737

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	30,170
支払手形及び買掛金	1,259
短期借入金	17,287
1年内償還予定の社債	265
未払金	4,552
未払法人税等	569
未払消費税等	334
未払費用	812
預り金	1,444
賞与引当金	1,159
その他	2,486
固定負債	24,955
社債	602
長期借入金	6,340
再評価に係る繰延税金負債	10,533
退職給付に係る負債	1,263
その他	6,215
負債合計	55,126
純資産の部	
株主資本	13,720
資本金	2,335
資本剰余金	1,975
利益剰余金	9,501
自己株式	△ 92
その他の包括利益累計額	25,028
その他有価証券評価差額金	2,107
土地再評価差額金	21,989
退職給付に係る調整累計額	930
非支配株主持分	861
純資産合計	39,610
負債純資産合計	94,737

連結損益計算書 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで （単位：百万円）

科 目	金 額
営業収益	21,408
運輸業等営業費及び売上原価	16,436
販売費及び一般管理費	4,042
営業利益	928
営業外収益	104
営業外費用	198
経常利益	834
特別利益	255
特別損失	187
税金等調整前四半期純利益	903
法人税等	476
四半期純利益	426
非支配株主に帰属する四半期純利益	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	396

セグメント別営業収益構成比 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで （単位：百万円）



注) 左記の表は、セグメント間の内部営業収益
消去後の金額であります。

連結キャッシュフロー計算書 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで （単位：百万円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 881
現金及び現金同等物の増減額	1,199
現金及び現金同等物の期首残高	4,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,579

グループ会社の状況 (平成27年9月30日)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)広電ストア	96	100.0	流通業
広電建設(株)	50	100.0	土木、建築、住宅、不動産業
広電エアサポート(株)	98	100.0 (25.0)	航空運送代理業、保険代理店業
備北交通(株)	45	88.7	バス事業、旅行代理業
(株)広電宮島ガーデン	50	100.0	レストラン、売店
宮島松大汽船(株)	60	60.0	海上運送業
(株)ヒロデンプラザ	40	100.0	ボウリング、ゴルフ練習場
(株)グリーンバース・ヒロデン	90	100.0	ゴルフ場経営
(株)ホテルニューヒロデン	210	100.0	ホテル業
広電興産(株)	20	100.0	不動産賃貸業
エイチ・ディー西広島(株)	30	100.0	バス事業
広島観光開発(株)	125	57.7 (13.4)	索道業
(株)交通会館	156	63.7	不動産賃貸業
芸陽バス(株)	100	93.2	バス事業、旅行業、不動産業、保険代理業
大亜工業(株)	241	20.1	電気工事、電気通信工事、鋼構造物工事等
ひろでん中国新聞旅行(株)	100	50.0 (4.6)	旅行業
広島観光汽船(株)	40	－	海上運送業
(有)やまとタクシー	5	－	タクシー業
(有)広電商事	3	－	酒類の販売

注) 出資比率は、保有株式数を発行株式数で除したものであり、()内は間接保有比率で内数であります。

個別財務諸表(要旨)

損益計算書 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
(単位：百万円)

科 目		金 額
鉄・軌道事業	営業収益	3,255
	営業費	3,184
	営業利益	70
自動車事業	営業収益	5,534
	営業費	5,394
	営業利益	140
不動産事業	営業収益	2,833
	営業費	2,332
	営業利益	500
全事業営業収益		11,624
全事業営業費		10,912
全事業営業利益		711
営業外収益		125
営業外費用		142
経常利益		693
特別利益		229
特別損失		178
税引前四半期純利益		745
法人税等		384
四半期純利益		360

部門別乗車人員(個別)

鉄・軌道事業 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
(単位：千人)

区 分		人員数
鉄道事業	定期	2,758
	定期外	6,282
	小計	9,041
軌道事業	定期	4,271
	定期外	15,892
	小計	20,163
鉄・軌道事業計		29,205

自動車事業 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
(単位：千人)

区 分		人員数
都市圏乗合	定期	1,733
	定期外	6,905
	小計	8,638
地域乗合	定期	2,807
	定期外	6,401
	小計	9,208
呉乗合	定期	1,724
	定期外	3,452
	小計	5,176
高速		63
貸切		418
自動車事業計		23,506

会社の概要

会社概要 (平成27年9月30日現在)

設立	昭和17年4月10日
資本金	23億3,562万5千円
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号
従業員数	1,658名
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業
営業秆	1. 鉄・軌道 35.1秆 2. 自動車 1,467.6秆
車両数	1. 鉄・軌道 295両 2. 自動車 568両

取締役および監査役 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	椋 田 昌 夫
常務取締役	迫 孝 治
常務取締役	倉 本 勇 治
取締役	藤 元 秀 樹
取締役	沼 田 卓 壮
取締役	仮 井 康 裕
取締役	平 町 隆 典
取締役	横 田 好 明
取締役	瀬 崎 敏 正
取締役	岡 田 茂
取締役	田 村 興 造
取締役	秦 清
常勤監査役	尾 崎 宏 明
監査役	笠 井 久 雄
監査役	坂 井 康 成

注) 1. 取締役 田村興造、秦 清は、社外取締役であります。
2. 監査役 笠井久雄、坂井康成は、社外監査役であります。

執行役員 (平成27年9月30日現在)

執行役員	落 合 央 範
執行役員	玉 田 和

株式の状況

基本データ (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	2億4,000万株
発行済株式の総数	6,089万1千株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	4,141名

所有者別分布状況 (平成27年9月30日現在)

区分	株主数(人)	比率(%)
金融機関	22	0.53
金融商品取引業者	7	0.17
その他の法人	58	1.40
外国法人等	4	0.10
個人・その他	4,049	97.78
自己名義株式	1	0.02

所有株式数別分布状況 (平成27年9月30日現在)

区分	株式数(千株)	比率(%)
金融機関	11,149	18.31
金融商品取引業者	81	0.13
その他の法人	11,664	19.16
外国法人等	12	0.02
個人・その他	37,851	62.16
自己株式	132	0.22

大株主の状況 (平成27年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
広島日野自動車株式会社	2,341	3.85
株式会社広島銀行	2,088	3.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,755	2.88
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 五洋建設口	1,515	2.49
出光興産株式会社	1,500	2.46
株式会社鴻治組	1,403	2.30
広島ガス株式会社	1,236	2.03
三井住友海上火災保険株式会社	870	1.43
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	789	1.30
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託・三菱UFJ信託銀行口)	750	1.23

注) 株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,605株(持株比率2.64%)を含んでおります。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈基準および贈呈内容

株主優待乗車券・乗車証(年2回)		
所有株式数	種別	枚数
1,000株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ4～24枚
12,000株以上	電車全線・広島都心部エリアバス乗車証(1名記名式)	1枚
24,000株以上	バス全線乗車証または 電車全線・広島都心部エリアバス乗車証(1名記名式)	1枚
	電車全線乗車券	12枚
36,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式)	1枚
150,000株以上	電車・バス全線乗車証(1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚
300,000株以上		3枚
広電グループ諸施設ご優待割引券(年2回)		
1,000株以上	広電グループ諸施設ご優待割引券	1セット
自社指定商品(年2回)		
1,000株以上	広島県産品など	1セット

交付時期および有効期限

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	交付時期	有効期間	交付時期	有効期間
株主優待乗車券	5月末	—	11月末	—
株主優待乗車証		6/1～11/30		12/1～5/31
広電グループ諸施設ご優待割引券	6月末	7/1～12/31	12月末	1/1～6/30
自社指定商品	7月	—	1月	—

広電グループ諸施設ご優待割引券について

マダムジョイ・広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバースゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

自社指定商品について

- 当社で指定した商品をご送付しています。最近では、音戸ちりめん、広島県産のお米などをご送付させていただいております。
- 株主様が不在等で当社に返送された場合、送付の日から2週間以上経過したものを処分させていただくことがあります。

電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚が必要です。
3. 乗り継ぎには2枚が必要です。

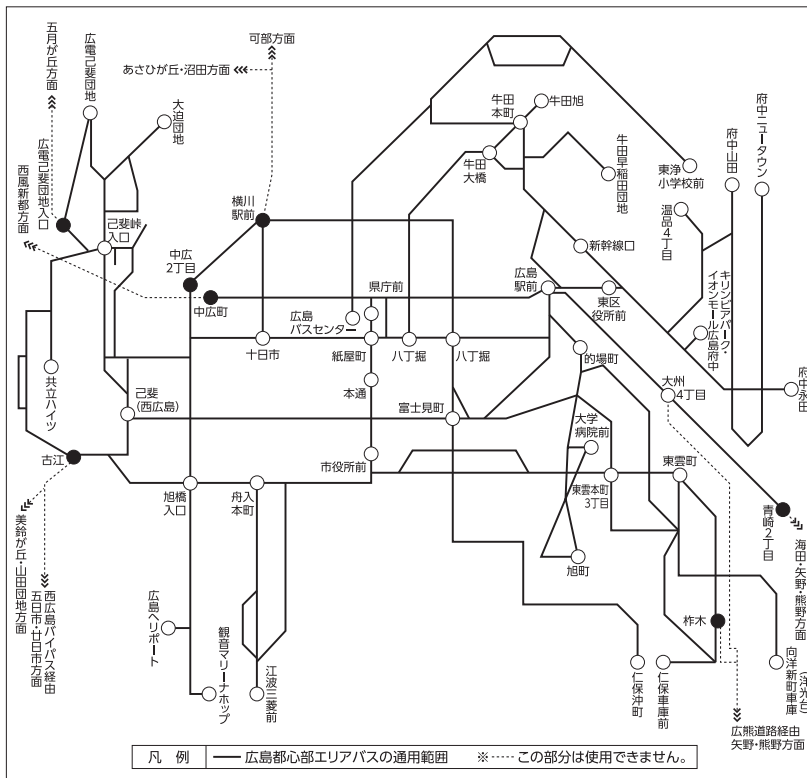
乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名者は、原則株主様となります。
ただし、株主様がご使用されない場合は、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系卑属（子または孫）の範囲で記名者を変更し、ご使用いただけます。
3. 使用者を変更する場合は、戸籍謄本、住民票等の証明書で確認させていただくことがあります。

電車全線・広島都心部エリアバスのバス通用範囲について

1. 電車全線・広島都心部エリアバスのバス通用範囲は右記の図の範囲内となります。
2. 当社が定めるシャトルバス・臨時便等にはご使用いただけません。詳しくは当社株式担当までお問い合わせください。

●広島都心部エリアバスの通用範囲



バス全線乗車証、電車・バス全線乗車証のバス通用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、呉広島空港線、米子線はご使用いただけません。
2. 三次線・松江線・浜田線・広島呉線（クレアライン）はご使用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 当社が定めるシャトルバス・臨時便等にはご使用いただけません。詳しくは当社株式担当までお問い合わせください。

株主優待制度のお問い合わせ先：〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号 広電本社ビル4階

広島電鉄株式会社 総務課（株式担当） ☎(082) 242-3522

株主メモ



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の 基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777(フリーダイヤル)

手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払のお申し出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、特別口座所有株式の振替等のお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告の方法

電子公告により当社ホームページ

<http://www.hiroden.co.jp/> に掲載いたします。

ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、中国新聞に掲載いたします。

お知らせ

中間配当について

当社は定款で中間配当制度を設けておりますが、上半期の営業成績に基づいて中間配当額を決定できる状況にはなく、当期も中間配当の実施は見送ることとしております。

なお、当期(平成28年3月期)の期末配当につきましては、4円00銭を予定しております。

株主懇談コーナーについて

次回の株主懇談コーナーは、平成28年5月下旬の開催を予定しております。開催日が決定次第、ご案内いたします。

広島電鉄株式会社

〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号
☎(082) 242-3521 <http://www.hiroden.co.jp/>